

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2025年12月

結果公表日:2026年3月

回答率

事業所職員: 4名回答、回答率 100%

保護者様: 18名回答、回答率 81%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・利用定員が10名以内を遵守し、職員間で利用状況を共有しながら受け入れ体制の調整を行っている。
- ・1日のスケジュールを掲示し、児童が活動の見通しを持って行動できるよう環境を整えている。
- ・掲示物を必要最小限にし、物の置き場所を明確にすることで、児童が集中して活動できる環境づくりを行っている。
- ・視覚的な刺激を減らすため、掲示物の配置を工夫し、活動に集中しやすい環境を整えている。
- ・クールダウンが必要な際に落ち着いて過ごせるスペースを確保している。

○業務改善

- ・毎日、業務前ミーティングで目標設定とその振り返りなどの相談や意見交換を設けて、業務改善やより良い支援の提供できるようにしている。
- ・保護者会を行い、実際児童がどんな風に過ごしているのかを見ていただく機会を設けている。

○適切な支援の提供

- ・毎月、5領域に沿った変化に富んだプログラムづくりを心掛けている。
- ・半年に1回の保護者との面談の他、送迎時の聞き取りや、日頃の活動の中でアセスメントを行って、子供と直接関わりを通して感じた主観的な課題や子供の様子を観察した間接的な課題などから分析をして計画を作成している。
- ・作成した支援計画を職員全体に共有して、児童らに関わっている。
- ・季節やその月に関するテーマをもとに活動内容を考えていることもある。
- ・自己決定できる場面を活動や余暇時間の中に入れていく。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校や相談支援の方から日頃の様子を伺い、様々な視点を得るために連携している。
- ・保護者様や子供から時間割表や年間行事等をいただくため、適切に行っている。
- ・下の階の児童発達支援のスタッフと連携して、情報共有している。
- ・心理検査に関して、心理職のスタッフから助言をいただく機会がある。
- ・送迎時に子供の発達の状況や課題について話すように意識している。
- ・保護者会を実施し、保護者同士での交流の機会を作っている

○保護者への説明責任等

- ・送迎時の引き渡しの際などに、その日の活動内容や児童の様子について保護者へ丁寧に説明している。
- ・個別支援計画の作成時や更新時には、計画内容や支援のねらいについて保護者に説明を行っている。
- ・児童の生活状況や学校での様子等について、教室の職員が保護者から話を伺い、支援に活かしている。
- ・教室のブログを通して、日々の活動の様子や行事、療育の取り組みなどを発信している。
- ・保護者からいただいたご意見やご要望をもとに、必要に応じて支援内容や教室運営の改善に努めている。
- ・保護者会を実施し、保護者同士が交流できる機会を設けている。

○非常時等の対応

- ・災害発生時に備え、避難訓練を月1回程度実施し、職員も防災に関する研修や訓練に参加している。
- ・ヒヤリハット事例を作成し、全職員で共有するとともに、事故を未然に防ぐための対策を検討し、安全管理に努めている。
- ・虐待防止や権利擁護に関する法人内研修に参加するとともに、教室内でも内容を共有し、職員の理解を深めている。
- ・身体拘束の適正化については、虐待防止等の研修を通して理解を深めるとともに、必要な場合には保護者へ事前に十分な説明を行い、放課後等デイサービス計画に記載するなど、適切に対応している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・教室の環境について、「広々していて活動するには申し分ない」というご意見をいただいた。一方で、「環境は問題ないと思うが、バリアフリーに関しては改善の余地ありかと思う※階段しかない等。」や「少し建物が古く床も少しほころびている」、「内装が少しボロボロで雰囲気は暗く感じるのが残念。それがもう少し改善されたら有難いです。」、「帰宅後いつも靴下等の汚れが目立つので床の掃除を徹底してほしい。」などと建物の改善や教室の汚れに関するご意見もいただいた。
- ・スタッフ体制について、ドライバー業務ができるスタッフが配置できていることへの安心の声をいただいた。その一方、職員のはたらきやすさの確保の観点から今以上に人員数が確保できていると安心とのお声もあった。

○適切な支援の提供

- ・「こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか」という項目では、「理解はしていただいていると思いますが、専門性のある支援についてはよく分かりません。」や「OT(作業療法士)、PT(理学療法士)などの専門の先生もいると良いと思う。」や「何が苦手で、どうしていきたいのかをきちんとスタッフさんと共有されているようで誰とお話しても知りたい情報を教えてくれるのでありがたいです」とご意見をいただいた。
- ・「こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか」という項目では、「近くの公園などで、外遊びがあるといい」とご意見をいただいた。
- ・「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。」という項目では、「個人的に地域の子供会や学童に入って、他のこどもと活動する機会を設けています」とご意見をいただいた。

○保護者への説明等

- ・「保護者会には参加しました。」などと保護者会に参加したご意見や「まだ利用して3ヶ月なので、その様な機会はありません」などの新規の保護者様からのご意見をいただいた。

○非常時等の対応

- ・災害発生時に備え、避難訓練を月1回程度実施し、職員も防災に関する研修や訓練に参加している。
- ・ヒヤリハット事例を作成し、全職員で共有するとともに、事故を未然に防ぐための対策を検討し、安全管理に努めている。
- ・虐待防止や権利擁護に関する法人内研修に参加するとともに、教室でも内容を共有し、職員の理解を深めている。
- ・身体拘束の適正化については、虐待防止等の研修を通して理解を深めるとともに、必要な場合には保護者へ事前に十分な説明を行い、放課後等デイサービス計画に記載するなど、適切に対応している。

○満足度

- ・「こどもは通所を楽しみにしていますか」という項目では、「とても楽しみにしています」とご意見をいただいた。
- ・「事業所の支援に満足していますか」という項目では、「他の事業所も利用しているが、本人がスマートキッズに行く日の方を楽しみにしています」とご意見をいただいた。
- ・「まだ利用し始めて3ヶ月なので、体制や先生、支援内容等良く分かっていない事(説明は受けたが理解仕切れていない)も多いですが、本人が楽しそうに通えているのが、1番重要なので、利用には満足しています」とご意見をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・保護者も参加出来るような企画・活動や、他教室と連携を図り実施できる企画・活動の思案を行っていく。
- ・緊急時・防犯・感染症対応について、スタッフへの定期的な避難訓練や研修を行い理解を深めるとともに、保護者へ緊急時・災害時の対応について周知する。
- ・避難訓練の活動では、保護者へのフィードバック時に写真や動画を活用し、訓練の様子を確認していただくとともに、実施目的についても伝えていく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・夏休みに2日間の保護者参観および保護者会を開催し、活動の様子を見学していただくとともに、保護者同士が顔を合わせる機会を設けることができた。数年ぶりの開催となったが、好評をいただくことができた。
- ・研修や避難訓練を通して、職員が非常時対応について定期的に訓練を行い理解を深めることができた。そのため、今後も継続して取り組んでいく。
- ・避難訓練の様子については口頭での説明にとどまることもあったため、今後は写真や動画を活用し、訓練の様子をより分かりやすく保護者へ伝えていくことが課題である。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・集団活動を行うことができる十分なスペースが確保されている。
- ・送迎対応を行う体制が整っており、多くの学校やご自宅への送迎に対応できている。
- ・職員間で情報共有ができている。
- ・避難訓練や災害時の対応について、児童に分かりやすく伝える機会を設けている。
- ・保護者からは、「児童が利用をととても楽しみにしている」とのご意見をいただいている。
- ・満足度については、8割以上の方から「満足している」との回答をいただいている。

○改善点

- ・保護者の方から「職員数が少ない」「教室の内装が少し古く感じる」「バリアフリー面に課題がある(階段のみ)」といったご意見をいただいている。
- ・階段の昇降時には必ず職員を配置し、安全に移動できるよう配慮するなど、事故防止に努めていく。また、教室環境については、床や壁の修繕などを含め、より安心して利用できる環境づくりを検討していく。
- ・「外遊びがあると良い」とのご意見をいただいているため、長期休みや祝日などを活用し、公園へ出かけるなどの課外活動の機会を設けることを検討していく。
- ・非常時対応に関する理解は研修や避難訓練を通して深まっているが、今後も継続的に訓練を実施し、対応力のさらなる向上を図る必要がある。
- ・避難訓練の様子の共有が口頭説明にとどまる場合があるため、写真や動画等を活用し、保護者へより分かりやすく情報発信を行う必要がある。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・他教室と合同課外活動の企画を提案や検討を行い、本教室の児童たちが他教室の児童たちとの交友関係の構築となるような新たな関わりの場を設ける。
- ・児童たちが安全に教室を過ごしもらいながら、安全に療育ができるように教室の環境を整備する。

○1年間で取り組む具体策

- ・長期休み等の機会を活用し、他教室と連携した合同活動の実施について検討し、児童同士の交流の機会を広げていく。
- ・教室の室内外の環境について状況を確認し、日常的な清掃を徹底するとともに、必要に応じて設備の整備を行い、安心して利用できる環境づくりに取り組んでいく。

スマートキッズ